

生命を支える栄養素「ビタミン」の発見は 郷土の偉人 鈴木梅太郎博士

鈴木梅太郎は明治7年4月7日、堀野新田村に生まれました。学問が好きだった梅太郎少年は、明治19年に地頭方学校を卒業した後、県公認東遠義塾に入塾。しかし、彼の向学心が満たされること

はありませんでした。もっと高度な学問を身に付けようと、明治21年5月に単身徒歩で上京。東京農林学校予科（現東京大学農学部）で農芸化学を専攻し、29年に首席で卒業しました。

フィッシャー教授との出会い
明治34年に農学博士の学位を得る。ベルリン大学（ドイツ）へ留学。有機化学の権威者で、ノーベル

鈴木梅太郎 （農芸化学者）

ビタミンB1の抽出に成功 「オリザニン」と名付ける



◎鈴木梅太郎
明治7年4月7日、堀野新田村（現在の市堀野新田）、鈴木庄蔵の次男として生まれる。15歳で単身上京し、明治29年、帝国大学農科大学農芸化学科（現東京大学農学部）を首席で卒業。その後ドイツへ留学し、ベルリン大学でタンパク質やアミノ酸の分析について学ぶ。明治43年、新栄養成分の抽出に成功し、「オリザニン（現在のビタミンB1）」と名付けた。当時流行した「脚気（かっけ）」の治療に貢献。昭和18年、文化勲章を受章し、昭和天皇から正三位勲一等を拝受。昭和18年9月死去。享年69。

化学賞を受賞したエミール・フィッシャー教授と出会い、彼の下でタンパク質やアミノ酸の分析について学びました。
明治40年、東京帝国大学教授となり、米と肉のタンパク質の比較研究を始めました。

オリザニンの発見
梅太郎博士は、当時原因不明の病と恐れられていた「脚気（かっけ）」の治療に米ぬかが有効であることを発見。有効成分であるオリザニン（ビタミンB1）の抽出に成功しました。

そして明治43年12月13日、東京化学会において、梅太郎博士が新栄養成分「オリザニン（ビタミンB1）」を発表。博士は「ただ、かっけ（当時流行）を治すだけでなく動物が生きる上で必要なもの」とビタミン説を唱えました。
明治44年、この発見をドイツ語で発表しましたが、その前年にポーランド人の化学者フランクが同じ成分を抽出し、ビタミンと名付けて発表したため、鈴木博士の新発見が世界に認められるのが遅れてしまいました。

明治7年（0歳）	4月7日、堀野新田村に父・庄蔵、母・つたの次男として生まれる。三男二女の5人兄弟の三番目。
明治19年（12歳）	地頭方学校を卒業。
明治20年（13歳）	県公認東遠義塾に入塾。
明治21年（14歳）	5月15日、単身徒歩で上京。
明治22年（15歳）	東京農林学校（のちに農科大学と改称）に入学。
明治26年（19歳）	農科大学予科を卒業。
明治29年（22歳）	農科大学農芸化学科を首席で卒業。
明治34年（27歳）	農学博士の学位を授与。 辰野須磨子嬢と結婚。 二ツトリの白米病の実験を行う。
明治39年（32歳）	東京帝国大学助教授に任ぜられる。米ぬかからフィチンの分離に成功。
明治40年（33歳）	功。12月13日、東京科学会例会でオリザニンの発見を発表。
明治43年（36歳）	サバルサン（梅毒治療薬）、サル酸チル（解熱・鎮痛作用の医薬品や防癌剤などに利用）の工業的製造に成功。
大正13年（50歳）	日本農芸化学会を創立し、初代会長となる。
大正14年（51歳）	勲章をもって帝国学士院会員となる。
昭和2年（59歳）	郷土の地頭方小学校に奨学資金1万円を寄付。 天皇などに、「ビタミン」についての話をし、東京帝国大学農学部長に補せられる。
昭和7年（64歳）	ドイツ学士院会員に推薦される。パリ（フランス）で開催された万国博覧会にビタミンB1の結晶を出品し名譽賞を授けられる。
昭和13年（70歳）	理研酒工業株式を創設。
昭和18年（75歳）	4月29日、文化勲章を受章。 9月20日、東京慶応病院において腸閉塞症のため死去。

ビタミン発見100周年 ビタミンの日制定10周年 ビタミン効果で牧之原市を元気に



実験室で研究に打ち込む30代の博士。



オリザニンを東京化学会例会で発表したときの論文。

ビタミン発見100周年

博士の研究発表から90周年という節目の平成12年、「郷土が生んだ世界に誇る博士の偉業を後世に伝えていきたい」という「ビタミンの日」制定の気運が地元地域で高まりました。
各界有識者で組織する「ビタミンの日」制定委員会を立ち上げ、学会で発表した12月13日を「ビタミンの日」と制定しました。

それ以降、関係団体などによりビタミンの知識の普及や博士の顕彰などに取り組んできました。

ことしは「ビタミン発見100周年」「ビタミンの日制定10周年」となる年です。博士の功績をたたえ、本市を全国へのビタミン情報発信基地として、ビタミンのまちづくりに取り組み契機となるよう、市内ではさまざまな催しが開催されます。

牧之原市は、お茶やミカンといったビタミン豊富な特産物もたくさんあります。市では、そのビタミンに元氣や若さ、健康の意味合いを含め、市総合計画の基本理念に「幸福実現都市・ふれあいビタミン あいのまち」と掲げています。ビタミン効果で牧之原市を元氣にするため、ビタミンをキーワードに、みんなでまちづくりを進めましょう。

ビタミン発見100周年記念大会

地域にビタミン・身体にビタミン・心にビタミン

期日 12月12日（日） 午前10時～（予定） 会場 い～ら

- ▶ 午前の部 ①紙芝居「鈴木梅太郎博士物語」 ②セレモニー ③心のビタミンI（愛）表彰式 ④ビタミン教育模擬授業
 - ▶ 午後の部 ①基調講演（東京農業大学・荒井綜一農学博士） ②パネルディスカッション
- *そのほか会場では、博士の資料展示や博士とビタミン関連企業紹介コーナー、物産展が催されます。

12月11日には、地頭方小学校で「梅っ子ビタミンフェスタ」が開催され、飛び出せ化学ショーや博士の胸像の清掃と献花が行われます。

問い合わせ ビタミン発見100周年記念事業実行委員会事務局 寺田 ☎090-8733-0218

